

湊川相野学園 ニュース No. 25

発行: 2016年12月
湊川相野学園理事長室会

ひとを育て、ともに歩んで100周年



「第2回キャリア教育研究国際セミナー」

11月28日(日)湊川短大・松聖高校共同主催の「第2回湊川短期大学キャリア教育研究国際セミナー」が松聖高校多目的ホールにて開催されました。今回は自分の人生を物語ることを通じて自己の意味を再発見したり再構築したりする学生・生徒の教育及び指導の方法を実地に習得することを目的とした「ライフストーリー教育」というものです。

内容は初めに末本短大長より短大での経験を基に、この教育の概要と具体的な取り組みの結果報告がありました。

若者が個々に経験した「あの瞬間」を深く掘り下げるにより、それらが今の自分の考えや環境に繋がっていることに気づき、過去と現在の一貫性による自己の再発見の中で人生の豊かさを自覚する。また他人のストーリーを聴くことで同じ思いをしたという共感が生まれ、ともすれば周りに合わせることに気を遣いすぎた自己表現の希薄さに気づく。そして人とのコミュニケーションが影響を与えてくれた人生観への感謝は自己の中の他者に対する思いやりとなり、これからの進む道を見出す術の一助となる。経験したからこそ「個別の中の普遍」が理解できるのであって、そのための一つの方法がこの教育なのである。

指導者はこれ以外にも現在の教育の質保証である知的学習支援・言葉遣いや身のこなしを含めた社会的能力の形成など、次の段階の課題が残っているが、このセミナーがそれらの向上に対して有意義なものになることを願います。と述べました。

続いてカナダのケバック大学リムスキー校教授のパスカル・ガルバーニ氏による実地講習(ワークショップ)が行われ、参加者に実際「書く」「話す」ことを通じて意味のある経験の気づきや理解の到達点を学んでもらいました。

人生と知識の間に存在する瞬間の連続性を意識することにより自己の存在理由を構築しようとするこの教育方法が広がればいいですね。



湊川短期大学「里山保全授業」

湊川短期大学では教育の一つとして、「湊川のあゆみ～現実から学ぼう」という6つの取り組みを学生が主体となって行っています。今回は学園敷地内の自然林を地域の人や樹木の専門家などにご協力頂きながら里山整備をしました。「学園林」を再生することで、学生たちが自然の大切さを学び、子どもたちに森に遊ぶエリアを創造することを目指しています。この他に、ユニバーサルデザイン・子どもたちとのふれあい・人がなぜここに集まるのか・立杭焼とは・市内wi-fiの実情などを体験して行こうという事などが行われています。山(林)のある湊(湊川)なんて素敵ですね。



附属神陵台幼稚園「音楽会」



11月18日(金)舞子ビラの紫陽花ホールにて音楽会を行いました。保護者の方にも「ゆったり観られる」と好評をいただいております。ホールをお借りしての音楽会。幼稚園のお遊戯室とは違う雰囲気、子ども達も大喜びで本番を楽しむことができました。

お知らせ

平成29年2月19日(日)学園・同窓会共催で「ありがとう短大2号館 お別れ会」と銘打って短大ホームカミングデーが開催されます。昭和38年来皆さんに親しまれてきた短大2号館が建て替えのため4月中旬以降に取り壊されることになっています。多くの学生たちを育てたこの建物に別れを惜しむと共に新たに整備される母校の現状を知っていただきたいと思っております。当日11時～12時受付で15時まで自由に校内散策をしてください。会費は同窓会員・旧職員の方々はお弁当記念品付きで1,000円です。当日大前衛先生の特別講義(13時～)、感謝メッセージ募集、スライドや卒業アルバムの展示・閲覧などを計画しています。案内ハガキでの申込みをお待ちしています。詳しくは短大HPにてご確認ください。